

注意  
特に搬置な取り扱いを要す

# イラク後送業務隊の活動報告



18. 7. 24  
イラク後送業務隊

1922437

アサヒ見直し

## イラク後送業務隊活動報告 (7月24日)

### 1 人員・装備の状況

- 人員  
クウェート後送隊 [redacted] 下痢のため空自医務室に入室 (検査含め2~3日の予定)
- 装備：異状なし

### 2 24日(月曜日)の活動

区分	業務内容
後送業務	コンテナ作成 6個コンテナ作成 (車両×2、需品×2、衛生×1、通信×1)
	洗車 16両後送準備終了 (LAV×3、水タンク×4、特大×1、野外フォーク×3、3tフォーク×5)
	本邦後送
	その他
帰国支援業務	○帰国第3波本邦離隔支援 (人員・貨物輸送、報道対応、米軍調整等)
その他	○キャンプバージニア施設撤収業務 ○サマーワ後送班戦力回復 ([redacted] 以下5名)

陸幕用

7月24日現在

**KWからの装備品等の後送状況把握（全体像）**

**コンテナ**

KWから本邦へ後送するコンテナ総数【581本】			
コンテナ詰め数【220本】		空数【361本】	
終了【94本】	今後実施【126本】		
後送済【56本】		後送済【0本】	

**車両**

KWから本邦へ後送する車両総数【230両】	
洗車終了【90両】	今後実施【144両】
後送済【27両】	

陸幕用

**3. 後送業務の進捗状況**

コンテナ開梱数の変更については、CV、CCN及びひまわりにおけるコンテナの掌握が終了し、正確な数値が判明したので本日付をもって修正した。

7月24日未現在

区分	計画		進捗度		残数	備考	
	総数 (a)	当該日迄 (b)	総数比 (c/a)	計画比 (c/b)			
コンテナ	開梱 (コンテナ数)	337	279 【6】	82.8%	100%	58	
	コンテナ詰め (点数)	99,451	16,623	16.6%	99.6%	82,828	
	後送 (点数)		7412	7412 【0】	7.5%	100%	92,039
車両	洗浄	230	79	90 【16】	39.1%	114%	140
	後送		27	27 【27】	11.3%	100%	203

※ 点数については、弾薬を除いた点数  
【 】内は当日の実績で内数

陸幕用

車両の現況

7月24日末現在

項目	小型	中型	救急	軽甲	高機	WAPC	業4	マイクロ	施設	水タンク車	燃料タンク	冷凍車	セミトレ牽引車	トレーラ	大型	特大	浄水セット	重レッカ	溶接車	修理車	野外フォーク	コンテナスキャナ
総数	14	10	2	61	23	7	2	2	9	7	5	4	4	9	43	11	4	2	1	3	5	2
KW	本日の実績			3						4						1					3	
	留め置き	2	5	0	4	1	0	0	2	5	0	0	1	0	22	3	0	0	0	1	3	1
	残数	2	0	0	57	19	7	2	2	7	3	5	4	3	9	15	8	4	2	0	2	2
本邦	本日の実績																					
	累計	10	5	2		3									6				1			
	残数	4	5	0		20									37				0			

陸幕用

コンテナの現況

7月24日末現在

項目	武器	車両	弾薬	通信	需品	施設	衛生
総数	集計中						
KW	本日の実績		2		1	2	1
	留め置き	3	14	6	5	7	2
	残数						
本邦	本日の実績						
	累積						
	残数		39				

4 25日(月曜日)の活動予定

区分		業務内容
後送業務	コンテナ作成	4個コンテナ作成 (車両×3、通信×1)
	洗車	4両後送準備完了 (特大×4)
	本邦後送	
	その他	
その他		○キャンプバージニア施設撤収業務 ○サマーワ後送班戦力回復(以下5名)

5 週間後送計画及び実績

区分	7/22	7/23	7/24	7/25	7/26	7/27	7/28
	土	日	月	火	水	木	金
コンテナ作成	車両×2 通電×1 施設×2	車両×1 需品×1 施設×2	車両×1 通信×1 需品×1 衛生×1	車両×2	車両×3 通信×1	車両×3 通信×1	0
	車両×2 通電×1 需品×2	車両×1 通信×1 需品×2	車両×2 需品×2 衛生×1 通信×1				
洗車	5	4	4	0	4	4	0
	6	3	16				
後送	コンテナ	武器×3 弾薬×6					
	トレーラ						
	車両	27					

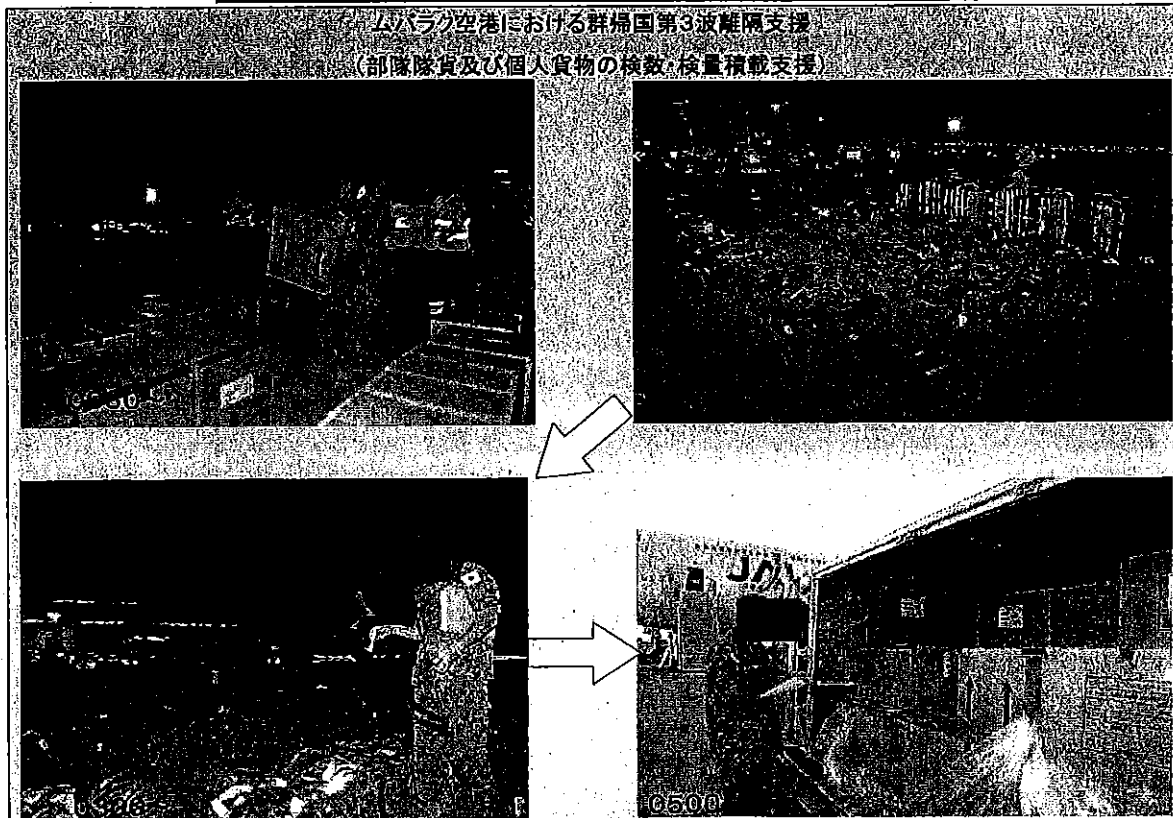
※下段には実績を記入

## 6 日々ミーティング

- 治安情勢:別紙第2「クウェートの治安状況等(7月24日)」
- RSU長指導事項
  - － 最後の群の送り出しは朝早くからお疲れ様。これからは我々本来の後送業務に集中して業務を実施できる。焦らず計画的に、かつ、安全管理に注意して着実に実施せよ。
  - － 23日1700をもって群長の指揮をはなれ、長官直轄部隊となった。指揮系統の変更に伴う業務要領の変化についてよく認識するとともに、管理簿等の各種書類についてもミスや抜けのないように注意して実施せよ。

## RSU活動状況 (7月24日)

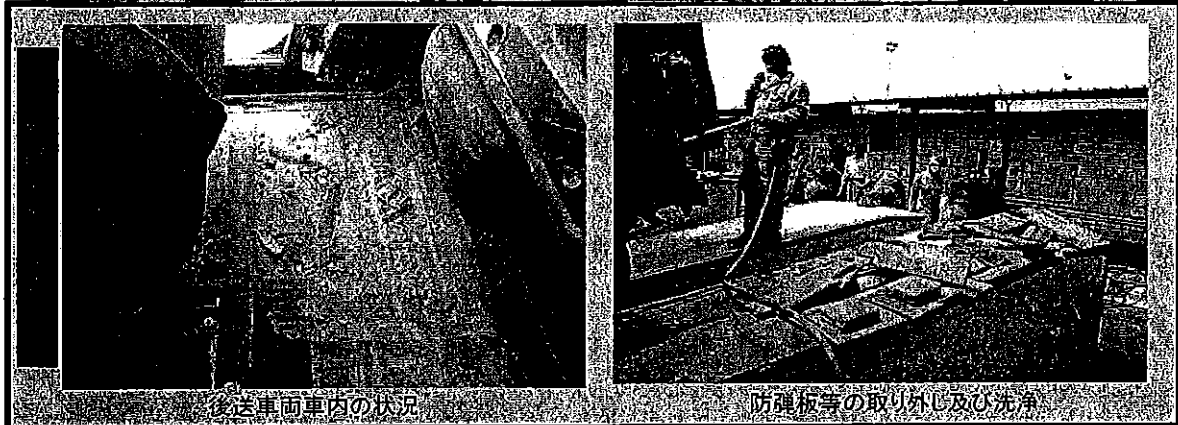
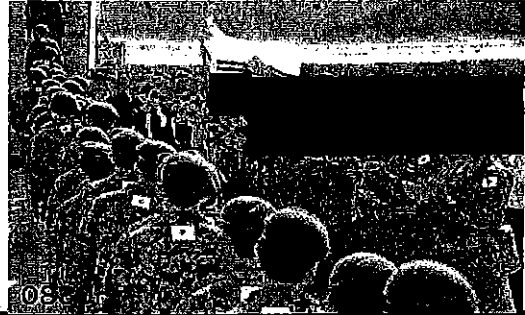
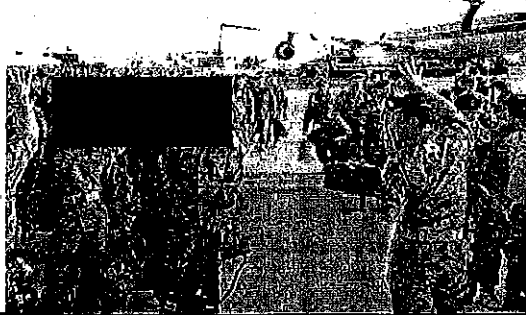
別紙第1



**RSU活動状況 (7月24日)**

ムバラク空港における群衆国第3波離隔支援

(人員誘導・見送り)



送車両車内の状況

防弾板等の取り外し及び洗浄

**クウェートの治安状況等 (7月24日)**

区分	内容	備考
クウェートの治安状況等	1 在クウェート日本大使館等 警戒情報 (1) 警戒レベル : ██████████ (2) 日本国外務省渡航安全情報:クウェート全土「十分注意」(N/C)	N/C
	2 ██████████倉庫・RSU宿泊場所等活動地域:異常なし。	N/C
	3 クウェート国内での車両運行に及ぼす影響 交通事故は、ほぼ連日発生している事から車両運行時、特に次の点に注意 (1) R6, R40, R80上の速度超過による追突事故、突発的な歩行者の横断 (2) 前方走行するトラックのバーストによるタイヤの飛来(7月以降は、道路の高温に加え、ほとんどのトラックは再生タイヤ着用のため、タイヤはバーストしやすい状況)	N/C
	(3) ロータリー交差点の進入・進出及び測道から本線への進入時 (4) 砂塵及び砂嵐発生時、視界不良。安全速度の厳守	N/C
	4 宿泊場所及び████████倉庫等での活動に及ぼす影響 クウェート全土で反米勢力がテロを敢行する可能性は排除できず、宿泊場所及び████████倉庫等への移動間は警戒する必要がある。	N/C
5 その他 付紙「アルカイダテロ組織関係?者の釈放判決について」	アラブタイムス(7/23付)	
気象	1 天気:晴れ 2 活動地域の温度(PWC洗車場) :最高・51℃(昨日比+0℃) 最低・40℃(昨日比-1℃) 3 25日後半から砂嵐が発生すると予想 明日の午後から砂嵐が発生し26~30日砂塵となる。27日が砂塵のピークになり、風が強まると予想。 (アリアルサレム空軍基地 空自 気象班情報)	7/24更新

**「アルカイダテロ組織関係?者の釈放判決について」****【趣旨】**

アルカイダテロ組織と関係があったとの容疑で捕まっていた5名のクウェート人の釈放の判決の記事がアラブタイムズ(7.23付)に掲載されたところ、その記事の内容の骨子を紹介するもの

**【記事内容骨子】****1 クウェート犯罪裁判所の判決**

アルカイダテロ組織に所属していたまたは資金を調達していたとされる5名の容疑者(今年3月までキューバのグアンタナモ収監所に収監されていた)の容疑を解き、土曜日(7/22)に釈放の判決

**2 これまでの経緯**

米国当局者は昨年11月にキューバに収監されていた5名を釈放。その5名は彼らがクウェートへ向かう途中において逮捕され裁判

**3 判決に対する検察の対応**

高等裁判所に上訴するかどうか未決定

**4 5名の容疑者の弁護人の主張**

(1) 依頼人(5名の容疑者)の犯罪を証明する根拠はない。

(2) 彼らはクウェートにおいて犯罪行為を何もしていないのでクウェート裁判所が彼らを裁く権限はない。

**5 クウェート人でその他、テロ容疑がかけられている者の処遇**

(1) 2005年1月に帰国した元グアンタナモ収監クウェート人は、当初、テロ関連容疑から放免されたが、上訴裁判で覆され5年の懲役刑の判決

(2) 6名のクウェート人が、今もグアンタナモに収監

**【評価】**

5名の容疑者の釈放された場合、本当にアルカイダテロ組織と関係なければ問題ないものと思料。しかしながら、仮にアルカイダテロ組織と関係があり有罪犯罪となった場合は昨年12月のテロ容疑者処刑に対する報復テロを宣言した潜伏者達(現時点で実行していない)と同様に、アルカイダテロ組織が報復テロを宣言あるいは実際にテロに訴える可能性はなしとしない事から、検察の動向及び潜伏(していると言われていた)者達の動向に注意する必要がある。